

第20部

Asian Internet Interconnection Initiatives

横山 輝明

第1章 はじめに

AI3 (Asian Internet Infrastructure Initiatives) ワーキンググループは、アジア地域におけるインターネット基盤や人的ネットワークの整備と、それらのつながりのうえでの人材交流や共同研究を実施している。インターネット基盤技術として衛星インターネットを運用しながら、衛星インターネットに関連する技術からそれ以外の技術まで、さまざまな研究開発にも取り組んでいる。本年のワーキンググループ内での活動内容について報告する。

第2章 2014年度のAI3 WGの活動概要

AI3 WGの活動として、毎年定例で開催されている運用ミーティングと、教育配信用サービスのグループ内共同開発の2つについて報告する。

2.1 定例ミーティングの実施

AI3では、共同運用するネットワークの情報共有や共同研究の促進のために年に2回の運用ミーティングを実施している。AI3プロジェクトに参加する各国の大学関係者を招いてミーティングを実施した。今年も、4月に日本の横浜、10月にフィリピンのマニラにてミーティングを実施した。

2.1.1. 横浜ミーティング

2014年5月21日から23日に、横浜の慶応大学日吉キャンパスにて定例ミーティングを開催した。ミーティングでは、各パートナー大学の運用状況についての情報共有と、グループ内で共同開発中のWeb上e-LearningシステムであるWASABIの情報交換及びEuropean Commissionによる

研究費獲得への議論を行った。ミーティングの詳細は、以下のWebサイトに掲載する。

<http://www.soi.asia/events-meetings/meetings/315-ai3-soi-asia-meeting-yokohama-japan-spring-2014>

2.1.2. ケソンミーティング

2014年11月26日から28日に、フィリピンのケソンにあるAteneo de Manila Universityにて定例ミーティングを開催した。

ミーティングでは、各パートナー大学の運用状況についての情報共有と、WASABI開発の進捗共有、AI3ネットワークでのSDN技術の実験、AI3ネットワークでの4K/8K映像配信の可能性などについて議論した。ミーティングの詳細は、以下のWebサイトに掲載する。

<https://soi-ai3.asti.dost.gov.ph/>

2.1.3. 次回ミーティング

次回のミーティングは、2015年5月頃にインドネシアのBrawjaya UniversityかUniversitas Sam Ratulangi Manadoがホストして開催する予定である。

第3章 共同研究: WASABIの開発

3.1. WASABI概要

AI3ではSOI (School on the Internet) グループと協力して遠隔講義を提供している。これまでの遠隔講義の提供の経験を通じて、より円滑な遠隔講義の実施のためには遠隔講義を支援するWebサービスが必要だとの認識に達した。そこで、必要とする遠隔講義支援Webサービスの開

発に取り組む。開発するWebサービスはWASABI (Web Architecture for SOI Asia Broadband Infrastructure) と呼称する。WASABIは、HTML5/CSS/Javascriptなどの近年のWebサービス開発技術によって実現されるWebベースのアプリケーションである。WASABIは、講義映像の配信や双方向チャットなどの機能によってSOIでの遠隔講義基盤として動作することが期待されている。

3.2. WASABI開発について

AI3では、パートナー大学との共同開発プロジェクトとしてWASABIの開発を進めている。本開発そのものを、HTML5/CSS/Javascriptなどの重要技術の学習と共同開発を経験するコラボレーション機会として利用する。開発は2014年2月25日のワークショップより開始している。

<http://www.soi.asia/lectures/categories/87-technology/313-wasabi-web-development-workshop>

インドネシアの2大学、マレーシアの1大学が開発に参加して、国際共同開発体制を実現している。本年は、横浜ミーティングに合わせて6日間の開発ワークショップも実施した。現在はまだ開発中であるが、開発が一定段階に達した際には外部への公開や、論文等での広報にもつなげる。

第4章 まとめ

東南アジア地域におけるブロードバンド環境も充実してきているが、いまだインターネットアクセス困難な地域が残されている。また、災害などの状況下におけるインターネットアクセス手段の提供も重要な課題となっている。AI3では、これらの問題に応えるために今後も衛星インターネットインフラの運用と利用簡便化について研究開発を進める。また、衛星通信に限らず、我々の人的ネットワークを通じた共同研究などの活動についても積極的に取り組んでいる。WASABI開発やSDN技術といった、新たな活動をAI3プロジェクトの活性化の材料として活用する。